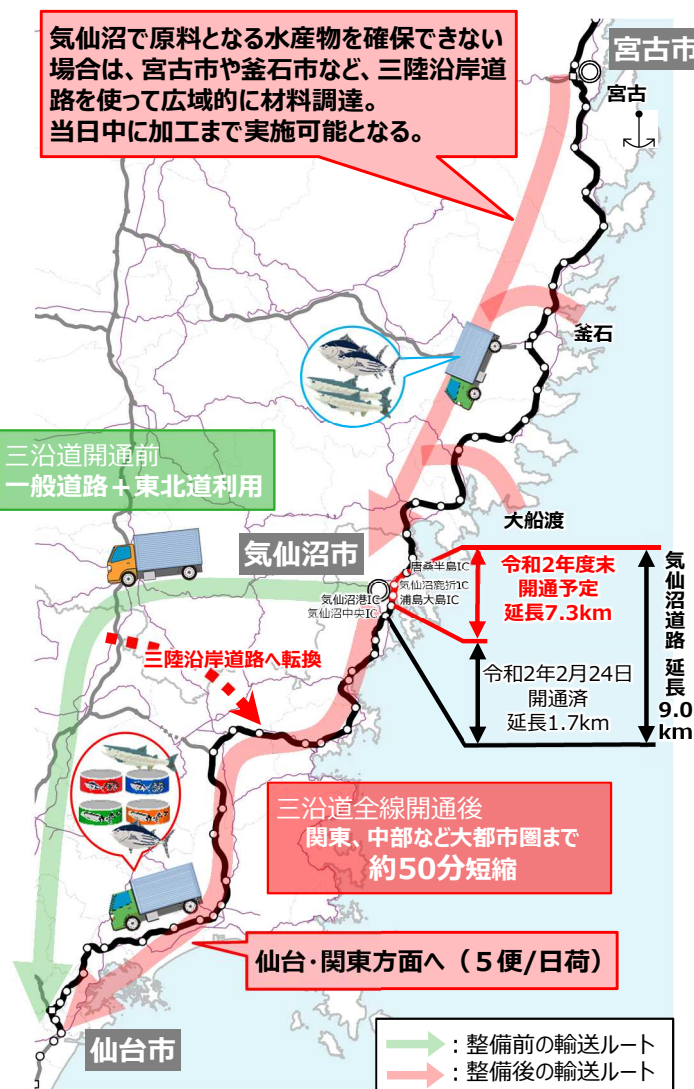


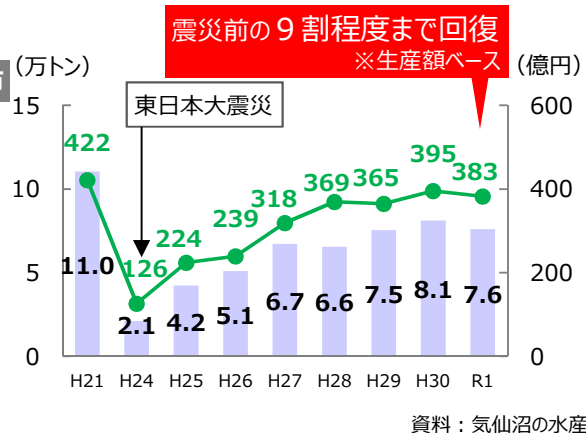
# 生産安定性確保による地域産業の支援

- 気仙沼市の主要産業である水産加工業は、東日本大震災により大きな被害を受けたが、出荷額は震災前の9割程度の水準まで回復。
- 三陸沿岸道路の整備により、気仙沼港からだけではなく、宮古市や大船渡市も含めた三陸沿岸地区からの水産物調達の選択肢が増え、生産、出荷の安定性に寄与。

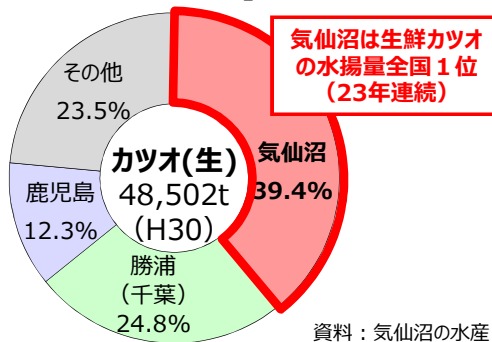
[水産加工業における三陸沿岸道路の活用]



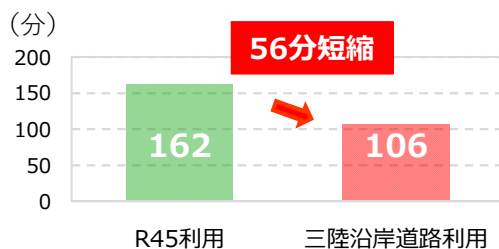
[水産加工業出荷額の推移]



[漁港別カツオ水揚量シェア]



[宮古市から気仙沼市の移動時間]



[気仙沼港IC周辺の企業等の集積状況]



[気仙沼市水産加工会社の声]

- 原料を気仙沼港で確保できない場合がある。三陸沿岸道路を利用し、宮古市や釜石市からも広域的に原料となる水産物を仕入れることが可能となった。
- コロナ禍において、個食用の加工品出荷量が増えているが、安定的に出荷できるようになる。

[気仙沼市物流業者の声]

- 関東方面の輸送は東北道から三治道に切り替えた。
- 三治道を活用した輸送のため、気仙沼港IC直近に、運送事業者6社でトラクターミナルを整備した。

(R2.10・ヒアリング結果)